

鳥獣害便り やまだのかかし

地域の鳥獣害をサポートするサイトです

編集・発行者：山村 準
Tel:0595-63-1725
Email:jyun.y@asint.jp

鳥獣害の歴史

農林水産省は、令和3年度の野生鳥獣による農作物被害状況について、全国の被害状況をとりまとめています。それによると、農作物被害のうち、特に大きいのがシカやイノシシによる被害で、鳥獣被害額全体の6割以上に及んでいます。

野生鳥獣による被害は営農意欲の減退や耕作放棄地の増加にもつながり、被害額として数字に表れる以上の影響を農山村に与えているといえるでしょう。

動物が、餌を食べる行動や、餌を探す行動などによって、人間が受ける被害のことを「獣害」と呼んでいて、現在日本では、年間150〜200億円ほどの被害被害があるとの報告もあります。

獣害は野生動物が増えているだけの問題ではなく、人間側の問題も多々あります。

野生動物はその生存本能に従い「安全で・餌の豊富な場所」を探しています。その条件が揃うと、そこが野生動物にとって利用価値の高い場所となり、被害の深刻化の原因となっています。

里山の荒廃 人間圧の低下

かつては、人間と野生鳥獣が共存するための知恵が伝統的に受け継がれてきた里山という林が、人間の住む集落と野生動物の棲む奥山の間にあり、そこが緩衝帯となり、野生動物は集落付近に降りてこられなかったのです。

里山は国土の約4割を占めるといわれています。しかし、近年、人口減少や少子高齢化にともない、里山の生態系を維持することとは絶望的で、豊かな生態系を支える「里山」は生物多様性の劣化など荒廃が進んでいます。

加えて、今、日本林業は停滞し森林の機能である国土保全・水源の涵養・地球温暖化防止・生物多様性の保全・木材の供給などの機能が失われ「緑の砂漠」と化し、野生動物の餌となる実のなる樹木や下草などが減少し、食べるものが減ったことが、野生動物が人間の居住空間に下りてくる一因ともなっています。

かつての里山では多くの人々が炭焼きや柴刈り草刈りなどをしていて野生動物は容易に集落や田畑に近づくことが出来なかったが、現在では、山を下りて来ても里山には人の気配が無く、安全であることを認識し、良い隠れ場所となっています。

野生動物にとつての餌は季節や年による変動も大きく確実性が低い。そのため、冬場や凶作の年には餌が不足して餓死したり、抵抗力の低下から自然死など自然淘汰されています。

しかし、現在では里山が機能していないため集落に容易に侵入出来しかも集落の山際には、白菜やレタスなどの作物残渣が沢山捨てられていて、野生動物は食べ物には事欠きません。

野生動物が集落に出没する理由は、『山にエサがないから』でも『人間に住む場所を追われたから』でもなく『こに来れば簡単においしいものをたくさん食べられる』と学習したからです。人にとつては泥がついたり、虫が食ったりした残渣ですが、野生動物にとつては、山の中では見たことのない、最高にみずみずしく栄養価が高くおいしい食べ物です。

畑を荒らす鳥獣の生息域拡大防止・鳥獣被害減少には、森林の再生と里山の復興が重要で待った無しです。

温暖化の影響 降雪量減少

温暖化の影響により各地の降雪量が減る傾向にあります。

それに伴い雪に弱いシカやイノシシが生息できる範囲が増え、新たな餌場を求めて尾瀬などの豪雪地帯や南アルプスなど3,000mを超す高山にまで分布域を広げています。

環境省の調査によりますと、昭和53年から40年間でシカの生息域はおおよそ2.7倍に拡大し、特に近年は、これまでシカが確認されてこなかった地域にまでシカが確認されるようになったほか、南アルプスでは、希少な高山植物が食べられる被害が報告されています。

イノシシは本州以南に広く生息する南方系の動物です。足が短いため多雪地では身動きができません。雪が

江戸時代 増えたら殺せ！

シカの個体数の推移は、江戸時代に多く、明治から激減、そして近年になって再び増加というU字形で表されています。

シカの頭数が非常に多かったとされる江戸時代、田畑の6割をシカに荒らされ、年貢の支払いができなくなつたなどの報告が残っています。

シカは、増えたり減つたり増減を繰り返して、一昔前ま絶滅の危機にあったのです。

シカの個体数増加の原因は地球温暖化ばかりではなく、中山間地域の過疎・高齢化での人間圧の低下が、シカイノシシの個体数の増加に大きく影響していると考えられています。

鳥害

鳥害といえはスズメを想像しますが、スズメの食性は、雑食性ゆえに穀物も食べることから、秋の穀物などの収穫期では害鳥と指定されていますが、しかし、それ以外の季節では害鳥では無くむしろ益鳥としての側面が大きいのです。益鳥・害鳥の定義を見ると、益鳥とは「人間や農作物などに利益をもたらす鳥」と、人間本意の身勝手な考え方です。

トキの話ですが、最近、特別天然記念物や野生絶滅危惧種に指定



豪雪の中をさまようイノシシ



雪の中餌を探すシカ

(約2万5千円)、2年子なら銀5万(約8千円)、1年子なら銀2万(約2千3百円)を褒美として与えています。また、シカについては、年齢にかかわらず1頭当たり銀5万としていました。

今までの「増えたら殺せ・減つたら保護」という、駆除一辺倒の泥縄式な鳥獣政策を見直し、正確な生態把握に基づく野生動物の長期的な科学的管理を進めながら共存の道を探るべきだと考えます。

鳥害

鳥害といえはスズメを想像しますが、スズメの食性は、雑食性ゆえに穀物も食べることから、秋の穀物などの収穫期では害鳥と指定されていますが、しかし、それ以外の季節では害鳥では無くむしろ益鳥としての側面が大きいのです。益鳥・害鳥の定義を見ると、益鳥とは「人間や農作物などに利益をもたらす鳥」と、人間本意の身勝手な考え方です。トキの話ですが、最近、特別天然記念物や野生絶滅危惧種に指定

され繁殖に力を入
れてきた佐渡では、
最近になつそのト
キが増え、人間と
の間で軋轢が生じ
問題になっていま
す。佐渡には8
年前に固有種と認
定されたサドガエ
ルがいます。これ
も希少な野生動物
ですが、サドガエ
ルはトキの大好物
で、その捕食被害
に加えて、農作物
被害の発生が広が
っています。また、
トキには足に水かき
があり、田植えの季節に
稲の苗を踏みつぶして
しまう被害が最近増え
ているといわれています。
このまま増えていくとな
ると、地元の米農家と
の摩擦も懸念されてい
ます。

トキの歴史

人間の都合で連れて
こられたトキの子孫は、
そんな事情を知るはず
もなく佐渡の空を飛び
回っているそうです。

トキはかつて、ほぼ
日本全土で普通に見ら
れる鳥でした。明治頃、
肉や羽が重宝され、多
数が狩猟され個体数が
激減。また、農薬の使
用、生息地の開発や消
失などの環境破壊が起
こり、1952年「特
別天然記念物」に、1
960年「国際保護鳥」
に指定されるが、その

頃にはすでに20羽前後
にまで減少してしま
した。1961年野生の
トキを保護し人工飼育
が始まり2003年ま
で続けられたが成功せ
ず、日本産トキは絶滅
してしまいました。
1999年中国の故・
江沢民主席が日本につ
がいのトキ(ヨウヨウ
とヤンヤン)を贈呈さ
れ、このつがいによる
人工繁殖が成功し、現
在では毎年数十羽の元
気なヒナが育つてい
て、2008年には、佐渡
の上空へ10羽のトキが
放鳥され、それから毎
年放鳥は続いています。
佐渡が国内最後の生
息地となったのは、昔
からの棚田が残り、冬
もわき水のためり場が
点在するなど佐渡は自
然豊かなトキの棲息に
適していたことや、ま
た比較的早くトキの保



佐渡の空を
飛び回るトキ

護の機運が高まっ
たことも、10羽前
後で生息し続けら
れた要因と考えら
れています。

個体群の動向

現在、野生のト
キは430羽ほど
棲息していると言
われていますが、
このペースだと数
年のうちに自然繁
殖だけで千羽を超
えると思われています。
それだけ佐渡には
自然豊かな環境が
残っているのです。

トキの減少は、明治
以降の乱獲や、戦後の
自然開発による棚田の
減少に加え、農薬使用
によるトキの餌となる
生物が減少するなど生
息環境の悪化です。
個体数の内訳は放鳥
トキが153羽、野生
トキが15羽となつて
います。現在、本州でト
キは確認されておらず、
野生下に生息する全個
体が佐渡島内に生息し
ていると考えられてい
ます。

農業におけるリスク
の1つとして挙げられ
るのが鳥獣害ですが、
中でもネズミは被害額
こそ大きくないが、食

農業機械 ネズミ被害

なぜネズミは電気ケ
ーブルをかじるのかとい
うと歯を研ぐためです。
猫が爪を研ぐのと同じ
ことなのです。



近年では、リビング
に置いてあるネット通
信機器のケーブルやパ
ソコン・テレビ・冷蔵
庫などの電源ケーブル
もかじられることがあ
ります。加えて、近年
農家が最も頭を悩ませ
ているネズミ被害と言
えば、トラクターやコ
ンバインへのネズミ被
害です。私ごとですが
3年前、トラクターの
の油送管を噛られ修理
費5万！。また今年、
コンバインに這入れられ
収穫ロースが酷く修理が
必要となっております。
聞くところによると、
トラクターの電気ケー

害以外の被害をもたら
すことがあるため軽視
することは出来ません。
農水省の「全国野生
鳥獣による農作物被害
状況について(令和元
年度)」によると、ネ
ズミによる被害は鳥獣
害被害全体の約0.6
%で被害金額は7.9
00万円となっております。

ネズミの被害という
と一般では衛生上の問
題を思い浮かべる方が
多いと思いますが、農
家にとつてのネズミ被
害はそれだけではありません。
出荷前の大切な
農作物をかじつて台
無しにしてしまつたり、
苗や生育中の農作物を
食べて育たなくしてし
まうことも多々あるの
で、農家にとつてこの
上ない厄介者です。

また、一昔前では、
ネズミが原因での漏電
火災が多々発生してい
ました。最近では、ネズ
ミに電気ケーブルをか
じられない対策として
「ケーブル自体に防鼠
効果がある」ケーブル
が開発されています。

ブルをかじられ修理不
能で買い変えた農家も
あります。
肥料も農薬も燃料も
高騰する中、農機具の
被害は農家にとつては
大きな痛手！。現代農
業は機械なしではやっ
ていけません。農業機
械高騰の中、農機具の
修理や買い換えは、農
家にとつて死活問題と
なっています。

農業機械被害
近年では、リビング
に置いてあるネット通
信機器のケーブルやパ
ソコン・テレビ・冷蔵
庫などの電源ケーブル
もかじられることがあ
ります。加えて、近年
農家が最も頭を悩ませ
ているネズミ被害と言
えば、トラクターやコ
ンバインへのネズミ被
害です。私ごとですが
3年前、トラクターの
の油送管を噛られ修理
費5万！。また今年、
コンバインに這入れられ
収穫ロースが酷く修理が
必要となっております。
聞くところによると、
トラクターの電気ケー

ブルをかじられ修理不
能で買い変えた農家も
あります。
肥料も農薬も燃料も
高騰する中、農機具の
被害は農家にとつては
大きな痛手！。現代農
業は機械なしではやっ
ていけません。農業機
械高騰の中、農機具の
修理や買い換えは、農
家にとつて死活問題と
なっています。

天敵利用
ネズミは同じ場所を
何度も通ることが多い
ので、油や汚れで黒光
りしているような場所
はネズミの通り道であ
る可能性があります。

ネズミは数センチの隙
間でも自由に通り抜け
られる能力を持つてい
るため、モグラが作っ
た穴はネズミにとつて
はいい隠れ道になるの
です。そこで、ネズミ
に自由に行動させない
ようにモグラ対策から
始めるといふ考え方が
あります。モグラ対策
としては風車やタバコ
粉が有名ですが、これ
らの撃退グッズを使っ
て、まずはモグラが寄
り付かないようにして、
それをネズミ対策につ
なげてみて下さい。
『モグラに芋囃られ

ネズミは数センチの隙
間でも自由に通り抜け
られる能力を持つてい
るため、モグラが作っ
た穴はネズミにとつて
はいい隠れ道になるの
です。そこで、ネズミ
に自由に行動させない
ようにモグラ対策から
始めるといふ考え方が
あります。モグラ対策
としては風車やタバコ
粉が有名ですが、これ
らの撃退グッズを使っ
て、まずはモグラが寄
り付かないようにして、
それをネズミ対策につ
なげてみて下さい。
『モグラに芋囃られ

ネズミ対策なのにモ
グラの対策をするとい
うのは話の筋がずれて
いるように感じられる
かも知れませんが、農
地ではモグラが通った
穴をネズミの通り道に
なることがあります。

ネズミ対策なのにモ
グラの対策をするとい
うのは話の筋がずれて
いるように感じられる
かも知れませんが、農
地ではモグラが通った
穴をネズミの通り道に
なることがあります。

ネズミ対策なのにモ
グラの対策をするとい
うのは話の筋がずれて
いるように感じられる
かも知れませんが、農
地ではモグラが通った
穴をネズミの通り道に
なることがあります。

ネズミ対策なのにモ
グラの対策をするとい
うのは話の筋がずれて
いるように感じられる
かも知れませんが、農
地ではモグラが通った
穴をネズミの通り道に
なることがあります。

超音波駆除器
「音」で撃退する方
法を考えたいと思いま
す。ネズミは超音波と
いって人間の耳には聞
こえないほどの高周波
の音を嫌う習性があり、
それが鳴っていること
ろには寄り付かないと
いうのが、超音波駆除

ワナを仕掛ける
ネズミは常に一定の
ルートをとって移動
する習性があります。
この習性を利用して、
ネズミの通り道にワナ
を仕掛けると効果的
です。

ネズミは常に一定の
ルートをとって移動
する習性があります。
この習性を利用して、
ネズミの通り道にワナ
を仕掛けると効果的
です。

ネズミは常に一定の
ルートをとって移動
する習性があります。
この習性を利用して、
ネズミの通り道にワナ
を仕掛けると効果的
です。

ネズミは常に一定の
ルートをとって移動
する習性があります。
この習性を利用して、
ネズミの通り道にワナ
を仕掛けると効果的
です。

ネズミは常に一定の
ルートをとって移動
する習性があります。
この習性を利用して、
ネズミの通り道にワナ
を仕掛けると効果的
です。

ネズミは常に一定の
ルートをとって移動
する習性があります。
この習性を利用して、
ネズミの通り道にワナ
を仕掛けると効果的
です。

編集局便り
「鳥獣害便り」ご愛読
いただきありがとうございます。
今月号の、「チヨット一服」は休
ませていただきます。

器のメカニズムです。
しかし、相手が超音波
だけに人間の耳には聞
こえないので、どんな
音が出ていのかを人
間が判断できません。
価格についてピンから
キリまであるのが実情
で、あまり安いものだ
と十分な効果が得られ
ないという報告もあり
ます。本格的な超音波
駆除器となると1万円
以上の価格になること
もありますが、それで
ネズミを撃退できるの
であれば安い買い物だ
と思います。

ネズミ対策は今に始
まったことではなく、
古くから農家を悩ませ
てきた問題です。伝統
的な方法から近代科学
から生まれた方法まで
選択の幅は広がってい
るので、ネズミ被害に
応じて試してみてください
下さい。

ネズミは常に一定の
ルートをとって移動
する習性があります。
この習性を利用して、
ネズミの通り道にワナ
を仕掛けると効果的
です。

ネズミは常に一定の
ルートをとって移動
する習性があります。
この習性を利用して、
ネズミの通り道にワナ
を仕掛けると効果的
です。

ネズミは常に一定の
ルートをとって移動
する習性があります。
この習性を利用して、
ネズミの通り道にワナ
を仕掛けると効果的
です。

ネズミは常に一定の
ルートをとって移動
する習性があります。
この習性を利用して、
ネズミの通り道にワナ
を仕掛けると効果的
です。